HOLS電気温水器(家庭用)
ほくでんライフシステム

取扱説明書

(形名により、デザインが異なります)

形名	深夜電力(通電制御)/時間帯別電灯切替式(屋内形) マイコン節電タイプ **HTMC-3601B** **HTMC-3701B**

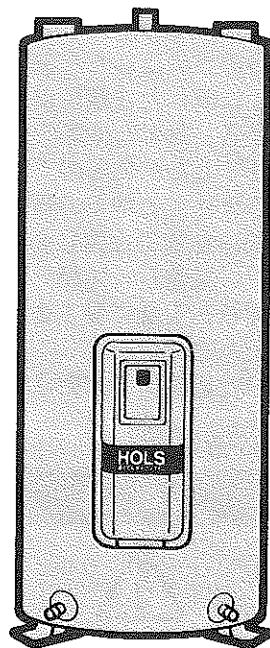
* この機種は (BL)認定品です。
* 使用前にお買いあげいただきました電気温水器の形名をおたしかめください。
* このたびは**HOLS**電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
* この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
* お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
* 工事説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
* 保証書は必ずお受け取りください。

時間帯別電灯対応型とは

時間帯別電灯料金制度に対応したもので、本体内に時計機能を内蔵しており、電気料金の安い夜間時間にお湯を沸かすようになっています。また、お湯がたりない場合には、昼間時間にもお湯を沸かす「追焚き」機能がついています。

時間帯別電灯制度とは

電気料金を昼間時間と、夜間時間の2つの時間帯に分けて電気料金を算出する料金制度です。昼間時間の電気料金単価は、一般の従量電灯の料金単価に比べ割高になっていますが、夜間時間の電気料金単価は深夜電力料金と同水準で割安になっています。

● この電気温水器は、通電制御による特別割引料金の適用を受けられます。適用に当たっては、最寄りの電力会社に申請してください。なお、適用機種にはそれぞれ、右記のマークを定格銘板に表示しています。

もくじ

通電制御型

時間帯別電灯対応
通電制御型

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
- 表示と意味はつぎのようになっています。

表示	表示の意味
	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します。

図記号の例

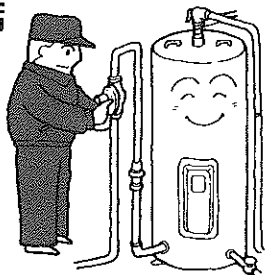
図記号	図記号の意味
感電注意	△は注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
アース工事	●は強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「アース工事」を示します。

■据付前の注意事項

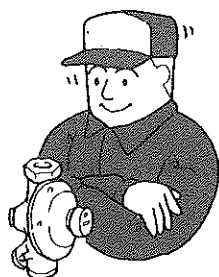
⚠警告

据付・配管・電気工事は、必ずお買いあげの販売店または工事店に依頼すること

ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・水漏れの原因になります。

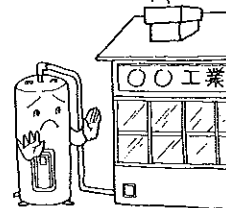
専門業者

減圧弁・逃し弁など、別売り部品も専用部品を使用すること

専用部品以外を使うと、事故・故障の原因になります。

専用部品

⚠警告

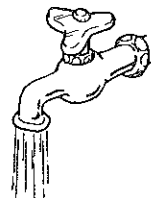
業務用・改造後の使用はしないこと

事故・故障の原因となります。

家庭用

⚠注意

水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用すること

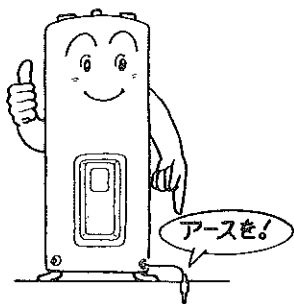
適合しないと故障・水漏れの原因になります。

上水道

■据付後の確認事項

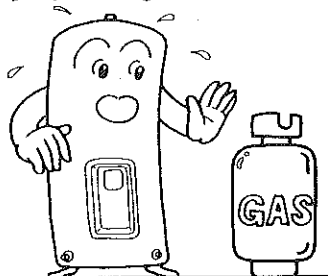
⚠警告

アース工事がされているか確認すること

故障や漏電のときに感電の原因になります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

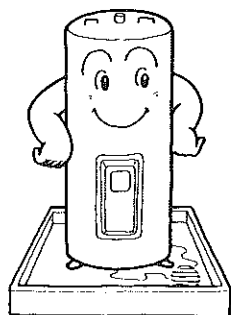
アース工事

温水器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認すること。

発火の原因になります。

施工確認

⚠注意

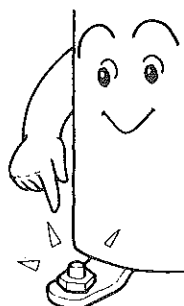
床面が防水処理・排水処理されているか確認すること

水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。

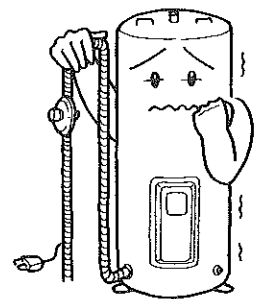
施工確認

脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること

本体が倒れてけがをすることがあります。

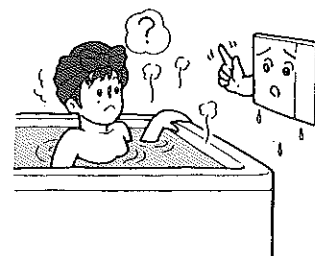
施工確認

⚠注意

凍結防止対策を確認すること

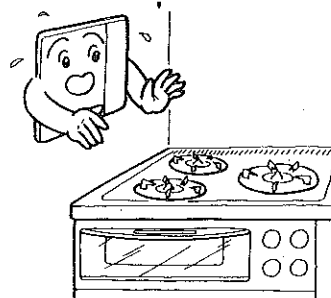
配管が破損してやけどをすることがあります。

施工確認

温水器・リモコンが浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認すること

火災・感電の原因になります。

禁止

リモコンは、直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取付けられていないことを確認すること

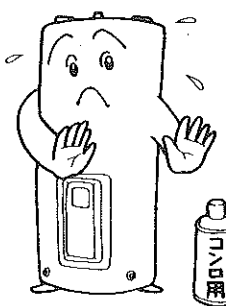
変色、変形、火災の原因になります。

禁止

■使用上の注意事項

⚠警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

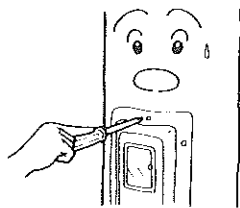
発火の原因になります。

禁止

安全上のご注意（つづき）

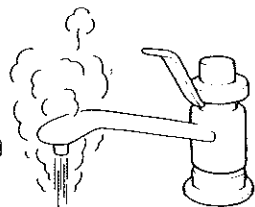
⚠警告

前面カバーは開けないこと

感電の原因になります。

禁止

給湯・排水時は熱湯が出る恐れがあります。やけどに注意すること

給湯せんを開いた直後は水がでますが、すぐに熱湯に変わります。

やけど

給湯時は給湯せん本体に手を触れないこと。やけどをすることがあります

朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いてください。

手をふれない

⚠注意

そのまま飲用しないこと

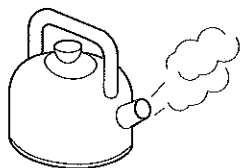
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

・必ず水質基準に適合した水を使用してください。

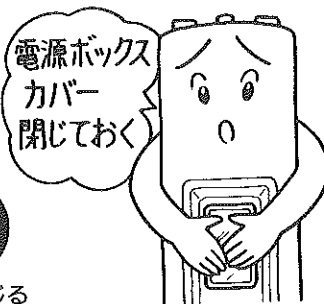
・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

沸騰後飲用

⚠注意

電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後には必ずねじを締めてください。

確実に閉じる

電気温水器の上に乗ったり、配管に力を加えないこと

本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意してください。

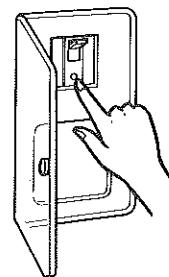
禁止

■点検・お手入れの注意事項

⚠警告

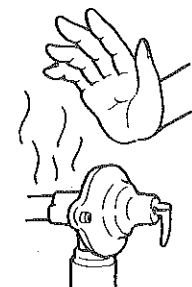
漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。

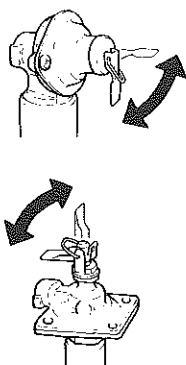
動作点検

逃し弁の点検時には逃し弁、排水管に手を触れないこと

やけどをすることがあります。

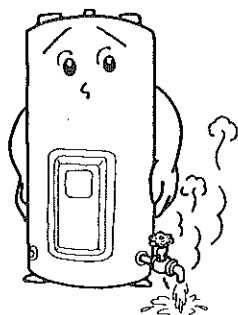
手をふれない

⚠注意

逃し弁を点検すること

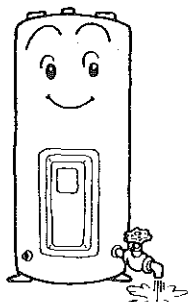
配管漏れによりやけどをすることがあります。高い所に設置されている場合は、脚立などを使用して安全に行ってください。

動作点検

タンクの熱湯排水は直接しないこと

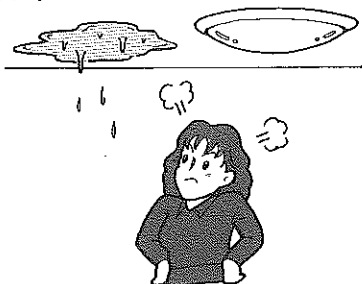
やけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。

熱湯排水禁止

1か月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること

水質が変化することがあります。

水抜き

水漏れを点検すること

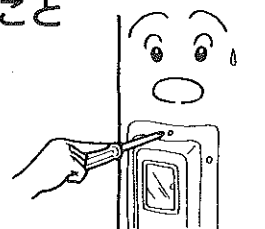
特に集合住宅では漏水が階下へ被害を与えます。日常確認してください。

漏水点検

■修理・譲渡等の注意

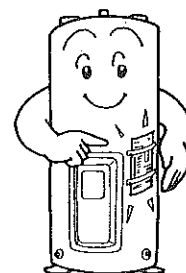
⚠警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないこと

発火したり異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

⚠注意

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください

説明書添付

■異常時の注意

⚠警告

異常時(こげ臭い、過圧防止弁からの水漏れ等)は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にして、お買いあげの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へ連絡すること

異常のまま使用されますと故障や感電、火災の原因になります。

電源を切る

各部のなまえとはたらき

*電気温水器は深夜の間にお湯を沸かし、タンクに貯めておいて必要なときに利用するものです。

*アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃すため、電気温水器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子をアース線で接続することにより構成されます。

*電気温水器本体に「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

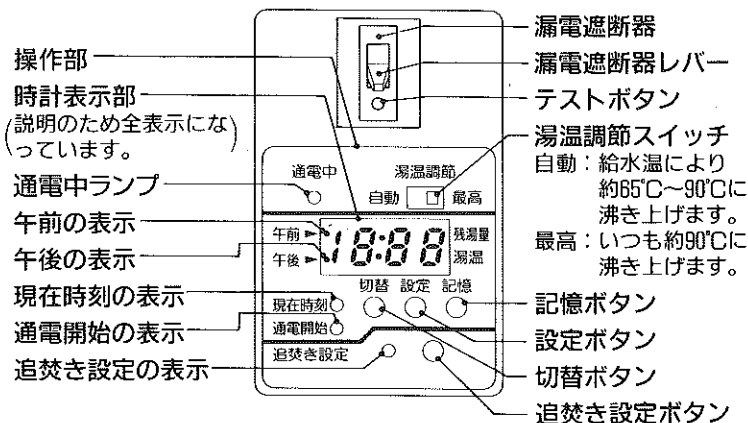
> ※減圧弁・逃し弁は消耗部品です。
> 定期的に交換が必要です。交換時期は水質によって異なりますので販売店にご相談ください。

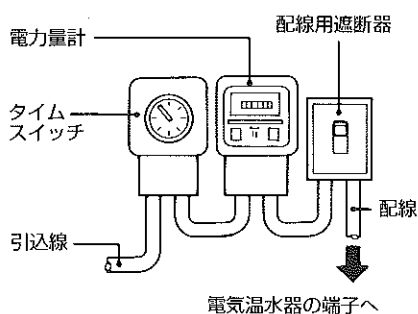
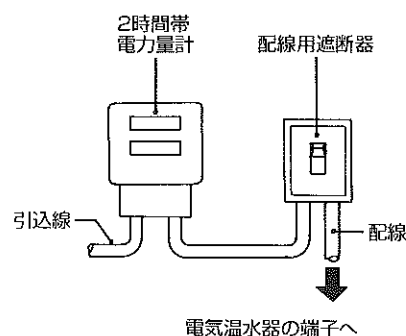
お願い

本体のラベルが剥がれてなくなったり、文字が消えて読めなくなった場合には、ラベルを販売店から、部品コードを指定して購入し、元の位置に貼ってください。

●HTMC-3601Bは外観が一部異なり、前面カバー、給湯口および電源取入口は右図の位置にあります。

操作部（電源ボックスカバー内部）

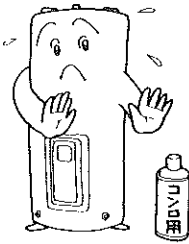
時計表示部
深夜電力型でのご使用の際には時計表示しません。

電気温水器側標準引込み配線

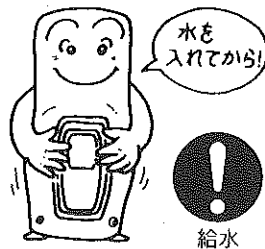
深夜電力の場合

時間帯別電灯の場合

使いかた

⚠警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。

禁止

タンクが満水になっていることを確認してから通電すること

・満水にしないで通電すると負圧により、タンクが破損し、やけどの恐れや水漏れの原因となります。
・水を入れないで通電すると故障の原因になります。

給水

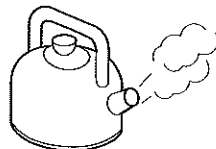
⚠注意

そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

沸騰後飲用

給水のしかた

最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを流すため、給水したら一度、全部排水し再び給水してください。

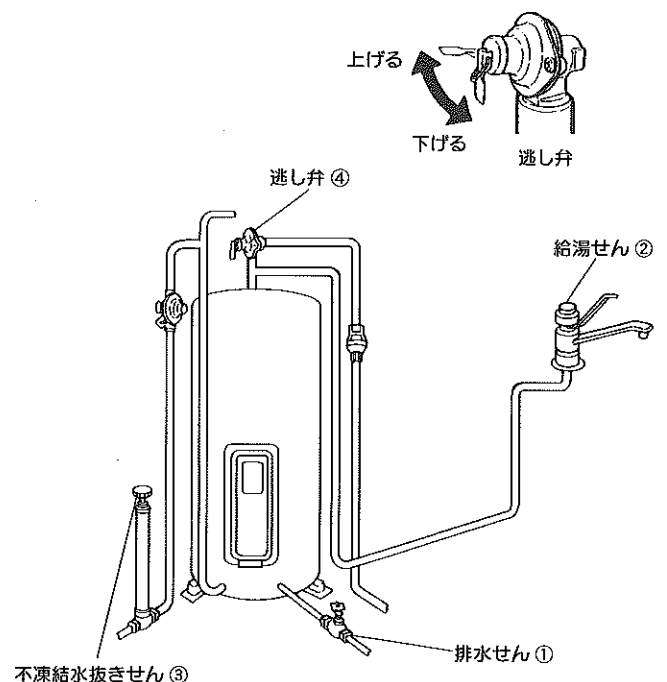
1 最初の給水のしかた

(1) 排水せん①を閉じます。
(2) 給湯せん②、不凍結水抜きせん③を開きます。
約20～30分で給湯せん②から水が出てきます。
これでタンクは満水になります。

2 排水のしかた

(1) 不凍結水抜きせん③を閉じます。
(2) 逃し弁④のレバーを上げます。レバーを上げないと、タンク内の水が抜けにくくなります。
(3) 排水せん①を開きます。
約30~40分で水が抜けます。

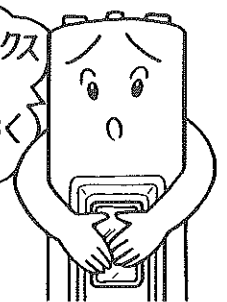
3 再給水のしかた

(1) 逃がし弁④のレバーを下げます。
(2) 排水せん①を閉じます
(3) 不凍結水抜きせん③を開きます。
(4) 給湯せん②から水が出てきたら給湯せん②を閉じます。

通電のしかた

⚠注意

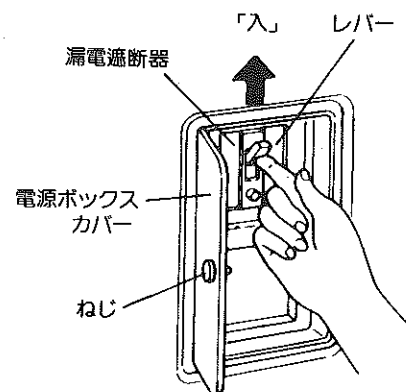
電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作のあとには必ずねじを閉めてください。

確実に閉じる

深夜電力でお使いになるとき

通電は必ず給水をしてから行ってください。

(1) 電源ボックスカバーのねじをゆるめカバーをあけます。
(2) 漏電遮断器のレバーを「入」にします。
(3) 湯温調節をします。
(4) 操作終了後、電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実に締めてください。
(5) 夜間の通電時間帯になると自動的に沸き上げを開始します。
ヒーターに通電すると、通電中ランプが点灯します。

* 通電中ランプが点滅（5秒点灯・1秒消灯）しているときは、マイコンによりヒーターへの通電準備中を示します。
* 通電時間帯は、午後11時～午前7時です。
* 沸き上げを開始すると、逃し弁から一晩で約11Lの膨張水がでますが異常ではありません。
* 現在時刻を合わせる必要がありません。
(時計表示はしません)

湯温調節のしかた

●湯温調節スイッチを切り替えて、沸き上げる湯温を2段階に選べます。

ご家庭の使用量によって切り替えてください。工場出荷時は「最高」にセットしてあります。

湯温のめやす

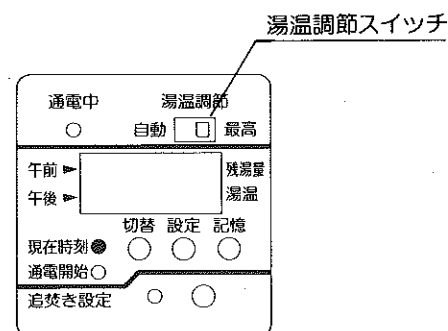
「自動」……約65～90℃（給水温を検知し、夏期は低く冬期は高く沸き上げます）

「最高」……約90℃

* 給水温が15℃未満のとき、90℃まで沸き上がりません。
* タンク内にお湯が残っている場合は、残湯量によりますが、水温が低いときでも90℃に沸き上げます。
* 沸き上げ中に停電があったときは、設定より低い温度に沸き上がります。

●スイッチの切り替え

電源ボックスカバー内の湯温調節スイッチを「自動」または「最高」側に切り替えてください。

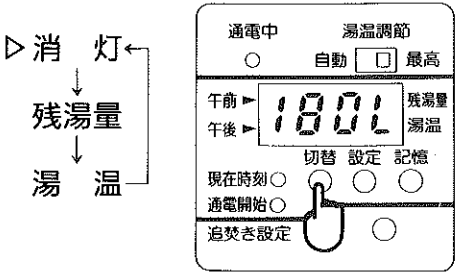
* スイッチの切り替えはいつでも行えますが、夜間の通電時間帯に「自動」から「最高」に切り替えたときは、約90℃まで沸き上がらないことがあります。
* 試運転のときは、必ず「最高」の位置で行ってください。

調節スイッチのつまみを「自動」「最高」の中間位置に合わせないでください。故障の原因になります。

使いかた（つづき）

表示切り替えのしかた

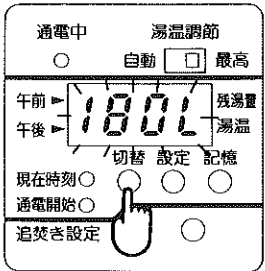
深夜電力時間帯にのみ「残湯量」「湯温」を切り替えて表示することができます。

● 切替 ボタンを押すことにより表示を切り替えられます。

切替 ボタンを押す 1回押すごとに表示の内容が切り替わります。

残 湯 量　タンク内の残湯量を表示します。

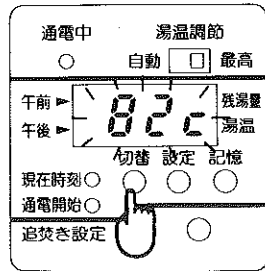
表示と表示に対する残湯量はつぎのとおりです。

表　示	残　　湯　　量
180L	180リットル以上あるとき
120L	120リットル以上180リットル未満のとき
60L	60リットル以上120リットル未満のとき
0L	60リットル未満のとき

●表示を消す場合には、切替 ボタンを2回押してください。

湯　　温　タンク内の湯温を表示します（給湯せんからの湯温ではありません）

タンク内湯温のめやすを表示します。
表示と表示に対する湯温の例はつぎのとおりです。

表示の例	湯　　　　温
82c	82℃
60c	60℃

●表示を消す場合には、切替 ボタンを1回押してください。

時間帯別電灯でお使いになるとき

通電は必ず給水をしてから行ってください。

(1) 電源ボックスカバーのネジをゆるめカバーをあけます。
(2) 漏電遮断器のレバーを「入」にします。
(3) 現在時刻を合わせます。
(4) 湯温調節をします。(11ページ)
(5) 操作終了後、電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実に締めてください。
(6) 夜間の通電時間帯になると自動的に沸き上げを開始します。
　　ヒーターに通電すると、通話中ランプが点灯します。

＊通電中ランプが点滅（5秒点灯・1秒消灯）しているときは、マイコンによりヒーターへの通電準備中を示します。
＊通電時間帯は、午後11時～午前7時です。
＊沸き上げを開始すると、逃し弁から一晩で約11Lの膨張水がでますが異常ではありません。

電源ボックスカバー
「入」
レバー
ねじ

現在時刻の合わせかた

- 現在時刻を設定していないとお湯を沸かすことができません。必ず現在時刻の設定をしてください。
- 誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
- 給湯せんより水が出ることを確認してから行ってください。(給水のしかた 7ページをご覧ください)

つぎの手順にしたがって現在時刻を合わせてください。

㊎ ここでは午後3時45分に合わせることで説明します。

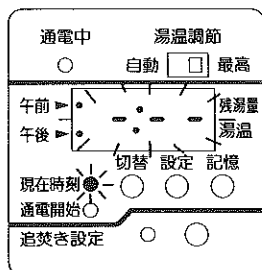
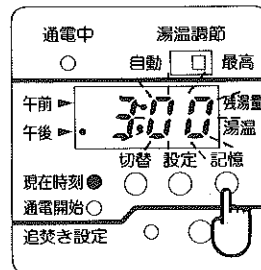
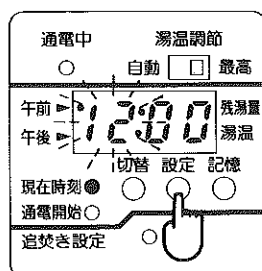
1 漏電遮断器のレバーを「入」にする

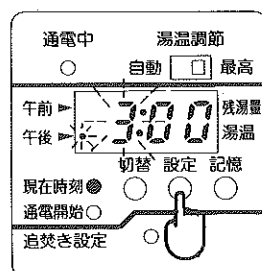
▷操作部の時計表示部および現在時刻の表示が点灯します。

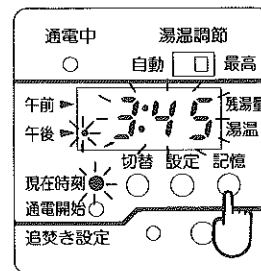
2 [設定] ボタンを約2秒間押して離す

▷時計表示部の 12が点滅します。

3 [設定] ボタンを押し、午後3時に合わせる

連続でボタンを押し続けると数字は自動的に進みます。
▷午後の表示と3が点灯したところで指を離すと3が点滅します。

4 [記憶] ボタンを押し、午後3時を記憶させる

▷午後の表示と3が点灯し分の位の00が点滅します。

5 [設定] ボタンを押し、45分に合わせる

連続でボタンを押し続けると数字は自動的に進みます。
▷分の位が45になったところで指を離すと45が点滅します。

6 [記憶] ボタンを押し、45分を記憶させる

▷午後の表示と3:45の表示が全部点灯になり、時計が動き始めます。

現在時刻を合わせなおすときは2～6により行ってください。

使いかた（つづき）

湯温調節のしかた

●湯温調節スイッチを切り替えて、沸き上げる湯温を2段階に選べます。

ご家庭の使用量によって切り替えてください。工場出荷時は「最高」にセットしてあります。

湯温のめやす

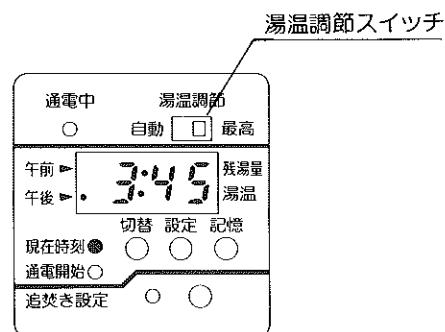
「自動」……約65～90℃ （給水温を検知し、夏期は低く冬期は高く沸き上げます）

「最高」……約90℃

＊給水温が15℃未満のとき、90℃まで沸き上がりません。
＊タンク内にお湯が残っている場合は、残湯量によりますが、水温が低いときでも90℃に沸き上げます。
＊沸き上げ中に停電があったときは、設定より低い温度に沸き上がります。

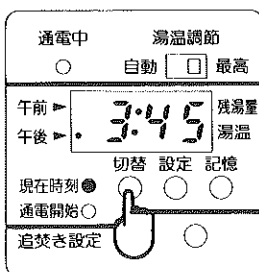
●スイッチの切り替え

電源ボックスカバー内の湯温調節スイッチを「自動」または「最高」側に切り替えてください。

＊スイッチの切り替えはいつでも行えますが、夜間の通電時間帯に「自動」から「最高」に切り替えたときは、約90℃まで沸き上がらないことがあります。
＊試運転の時は、必ず「最高」の位置で行ってください。

調節スイッチのツマミを「自動」「最高」の中間位置に合わせないでください。故障の原因になります。

表示切り替えのしかた

● 「現在時刻」「通電開始」「残湯量」「湯温」を切り替えて表示することができます。
● 切替 ボタンを押すことにより表示を切り替えられます。
● 「通電開始」「残湯量」「湯温」を表示したあとは、約10秒後に自動的に「現在時刻」表示に切り替わります。

切替 ボタンを押す　1回押すごとに表示の内容が切り替わります。

現在時刻　時計表示をします

設定のしかたは10ページの「現在時刻の合わせかた」により行ってください。

残湯量　タンク内の残湯量を表示します。

表示と表示に対する残湯量はつぎのとおりです。

表示	残湯量
180L	180リットル以上あるとき
120L	120リットル以上180リットル未満のとき
60L	60リットル以上120リットル未満のとき
0L	60リットル未満のとき

●残湯量表示後そのまま放置すると約10秒後に現在時刻表示になります。

湯温　タンク内の湯温を表示します（給湯せんからの湯温ではありません）

タンク内湯温のめやすを表示します。
表示と表示に対する湯温の例はつぎのとおりです。

表示の例	湯温
82c	82℃
60c	60℃

●湯温表示後そのまま放置すると約10秒後に現在時刻表示になります。

使いかた

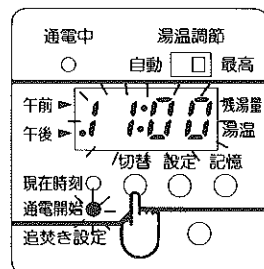
通電開始　夜間電力の通電開始時刻を表示します

工場出荷時は午後11時にセットしてありますが、通電開始時刻を変えるときはつぎの手順にしたがって合わせてください。

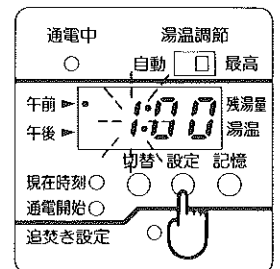
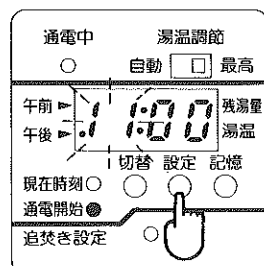
㊞ ここでは午前1時に合わせることで説明します。

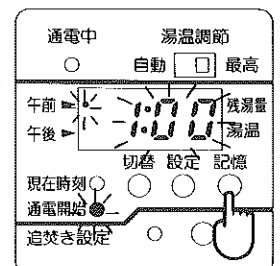
1 [切替] ボタンを押し通電開始の表示にする

▷通電開始の表示と午後11:00が点灯します。

2 [設定] ボタンを約2秒間押して離す

▷時計表示部の11が点滅します。

3 [設定] ボタンを押す

▷1回押すごとに
午後11:00→午前12:00
→午前1:00→午後9:00
→午後10:00と変りますので1を点滅表示させます。

4 [記憶] ボタンを押す

▷点滅の1が点灯となります。
これで通電開始時刻が午前1時に設定されました。
そのまま放置すると約10秒後に現在時刻表示になります。

通電開始時刻を合わせなおすときは1～4により行ってください。

使いかた（つづき）

追焚き設定のしかた

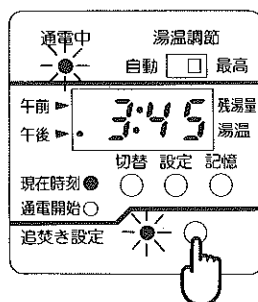
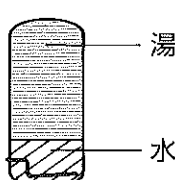
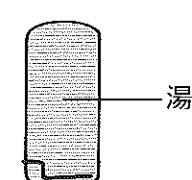
- 毎日湯切れの心配をしないで、たっぷりとお湯を使いたい。こんなときは、追焚き設定により昼間お湯を沸かして使用することができます。
- 残湯量の表示をめやすに「追焚き設定」を行なってください。
- 追焚き設定による沸き上り温度は「湯温調節スイッチ」で設定した温度で沸き上げます。
- 追焚きをするとお湯をたっぷり使えますが、昼間電力を使いますので電気料金は割高になります。
- 現在時刻が設定されていないと追焚き設定できません。
- 深夜電力でお使いの場合は追焚はできません。

- 追焚きは一度設定すると解除操作するまで解除されません。
- 電気料金節約のため午後5時以降午後11時までは追焚きしないようになっています。ただし、一度追焚きを解除後再度設定すると、設定した当日（その日）のみ午後5時から11時までの間でも追焚きができます。

設定および解除はつぎの手順で行ってください。（午後3時45分に設定または解除する場合で説明します）

1 設定

追焚き設定 ボタンを押す。

▷追焚き設定の表示が点灯し追焚きが設定されます。
水温・湯温検知センサーが水を検知すると、通電中ランプが点灯し、設定された温度まで追焚きされます。

2 解除

追焚き設定 ボタンを押す。

▷追焚き設定の表示が消え、追焚きが解除されます。
通電中ランプが点灯している場合には、同時に消灯し、追焚きを解除します。

こんなとき	毎日湯切れの心配をしないでたっぷりと使用したい。
追焚き設定	有
追焚きのしかた	沸き上げ前（湯／水） → 沸き上げ後（湯）
沸き上げを行なうときの条件	●朝7時から夕方5時の間にタンク内の湯を約60L（機種により異なる）使うと沸き上げを行ないます。
設定の解除	追焚き設定 ボタンを押して解除します。追焚き設定 ボタンを押さないかぎり、解除されません。
備考	夜間電力時間帯で沸き上がらない場合は、夜間電力時間帯終了後2時間だけ継続して、沸き上げます。

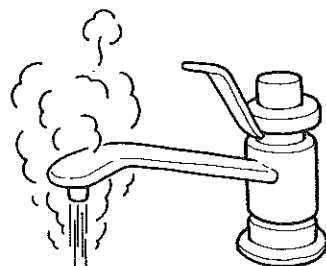
使用上の注意

⚠警告

給湯時は給湯せん本体に手を触れないこと

やけどをすることがあります。朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いてください。

給湯・排水時は熱湯が出る恐れがあります。やけどに注意すること

給湯せんを開いた直後は水がでますが、すぐに熱湯に変わります。

使いかた（つづき）

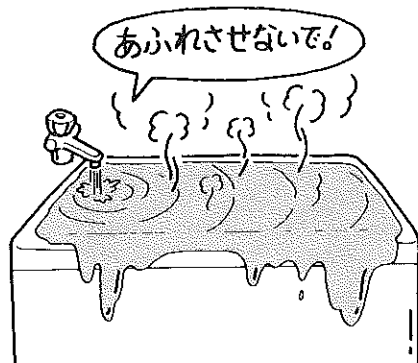
お湯の上手な使いかた

一日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。

●お湯は容器に受けて使ってください

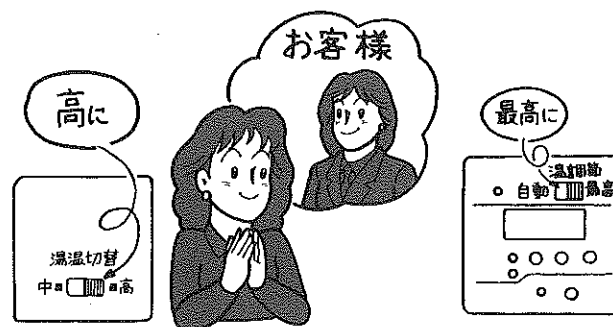
流し洗いは、お湯不足の原因になります。

●お風呂に給湯するときは

お湯をあふれさせないようにしてください。

●お風呂の差し湯は

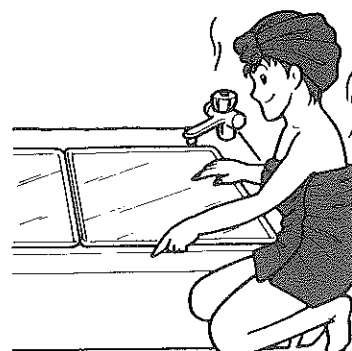
お湯の量が多いときは、あふれないように、お湯を少し減らしてから足します。

●来客があるときは

前日に温度切替（調節）スイッチを「高」または「最高」に切り替えておきます。
（「中」または「自動」のとき）

●入浴時間は

夜間の通電時間前にすませるようにしてください。
通電時間中にお湯をたくさん使用すると、翌日に湯量が不足します。

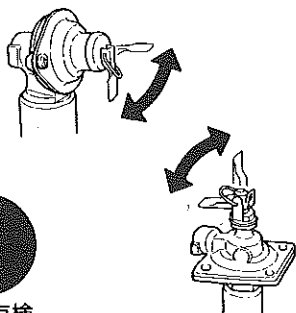
●お風呂のふたは

浴槽には冷めやすいものもあります。
入浴後はふたをしてください。

点検、お手入れのしかた

事故を防止するために下記の点検を必ず行ってください

⚠注意

逃し弁を点検すること

配管漏れによりやけどをすることがあります。
高い所に設置されている場合は、脚立などを使用して安全に行ってください。
給湯側の配管・機器は熱くなっていますのでやけどに注意してください。

動作点検

電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。
点検・操作の後には必ずねじを締めてください。

確実に閉じる

点　検

1 漏電遮断器の動作確認を

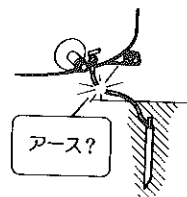
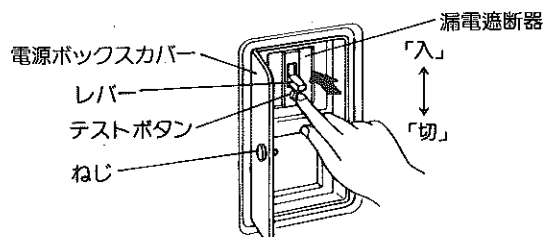
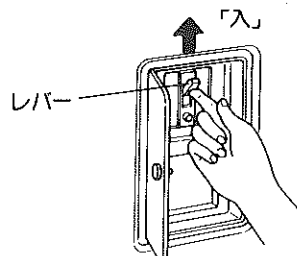
⚠警告

漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

●1年に2〜3回は、漏電遮断器の動作確認を夜間の通電時間内に、つぎのように確認してください。

(1) アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。

(2)正面の電源ボックスカバーをあけて、テストボタンを押してください。
漏電遮断器のレバーが「切」になり、通電中ランプが消えれば正常です。

(3)テストのあとは、必ずレバーを「入」にもどし、電源ボックスカバーを閉じて確実にねじ止めしてください。

点検、お手入れのしかた (つづき)

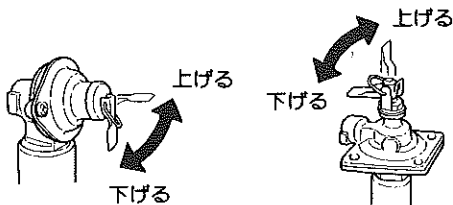
2 逃し弁の動作確認を

⚠警告

逃し弁点検時は逃し弁、配水管に手を触れないこと

やけどをすることがあります。

一年に2～3回、必ず逃し弁のレバーを2～3回上げ下げして動作確認をしてください。

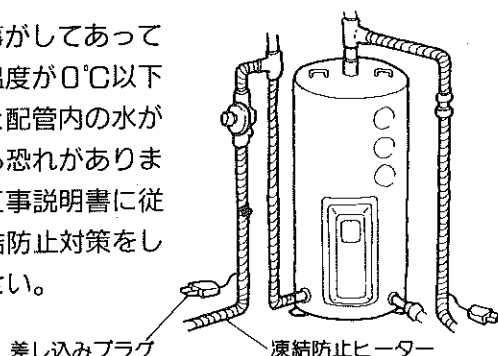
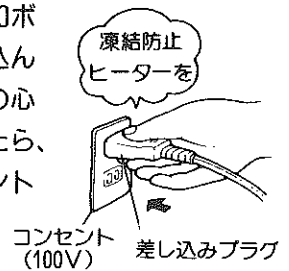
●レバーを上げたとき排水し、下げたとき排水が止まれば正常です。

●逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因になります。
●逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。
逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し、水漏れや故障の原因になります。

3 凍結防止を

⚠注意

凍結防止対策を確認すること

配管が破損してやけどをすることがあります。

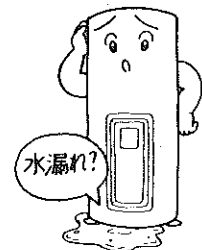
●保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管内の水が凍結する恐れがありますので工事説明書に従い、凍結防止対策をしてください。

●水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

4 水漏れの点検を

⚠注意

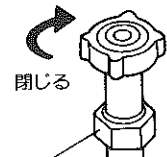
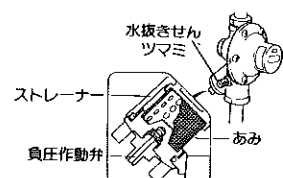
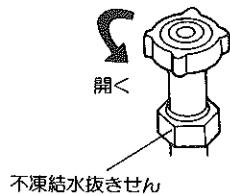
水漏れを点検のこと

特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
日常確認してください。

●電気温水器を設置した床面に水が漏れていないか確認してください。

●減圧弁・逃し弁は消耗部品です。
定期的に交換が必要です。交換時期は水質によって異なりますので販売店にお尋ねください。
●減圧弁・逃し弁は、専用部品を使用してください。

1 ストレーナーの掃除

●湯および水の出が悪くなったとき、または6か月に1回はつぎの手順でストレーナーの掃除をしてください。

(1)不凍結水抜きせんを閉じます。

(2)ストレーナーのふたをはずし、あみを掃除します。

(3)もとどおりに組み込み、不凍結水抜きせんを開きます。

2 お使いにならないとき

● 長期間お使いにならないとき

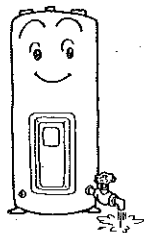
⚠注意

1か月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること

水質が変化することがあります。

・排水のしかたは7ページの「排水のしかた」をご覧ください。

・再びご使用になるときは、7ページの「再給水のしかた」により、タンクが満水になったことを確かめてから、通電の準備をしてください。

・翌日、ご使用になるときは、給湯せんから最初、配管内の空気と蒸気がでますので、やけどに注意してください。

3 タンク内の掃除を

⚠注意

タンクの熱湯排水は直接しないこと

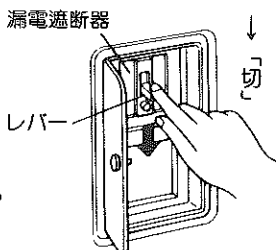
やけどをすることがあります。
水で薄めてから流してください。

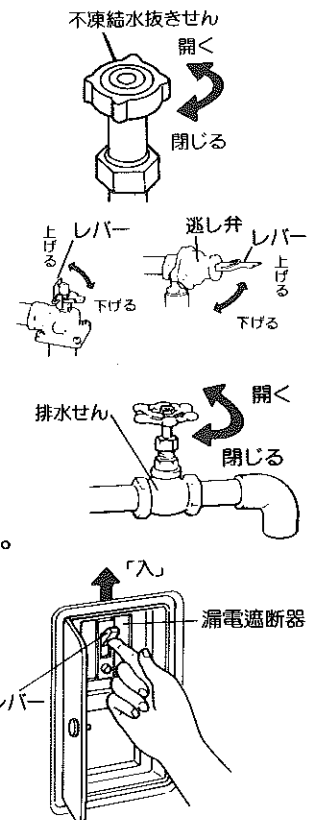
使用しているうちに水アカや沈澱物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず1か月に1回はつぎの手順で排水口から水アカを出してください。
タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を浴槽などにため、使いきった後、水になってから排水してください。

(1)漏電遮断器のレバーを「切」にします。

(2)不凍結水抜きせんを閉じます。

(3)逃し弁のレバーを上げます。

(4)排水せんを開きます。

(5)よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんを閉じます。（排水が見えないときは2分間くらいを目安に排水してください）

＊お湯がでてくることがありますので、やけどに注意してください。

(6)排水が終りましたら不凍結水抜きせんを開きます。

(7)逃し管から水が出てきたら逃し弁のレバーを下げます。

排水せん　開く　閉じる

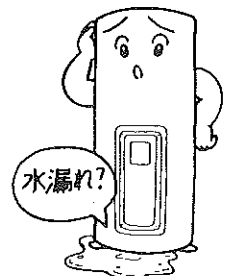
(8)漏電遮断器のレバーを「入」にします。

4 断水、近くで水道工事が行われるとき

● 工事が行われる前に不凍結水抜きせんを閉じてください。
濁った水が減圧弁のストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

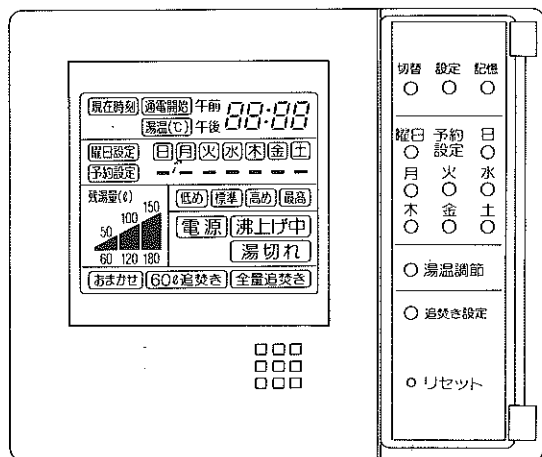
● 解除されたら不凍結水抜きせんおよび給水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから電気温水器を使用してください。

5 過圧防止弁について

● 過圧防止弁排水口より水（または湯）が漏れている場合は、配管システムまたは電気温水器に異常があります。漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にし、不凍結水抜きせんを閉じてお使いになるのをやめてください。お買いあげの販売店に連絡をして修理を受けてください。

定期点検のおすすめ

電気温水器を長期間安心してお使いいただくために、専門の技術者がお客様に代わって細かく定期点検、部品の交換をいたします。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。(有償です)

リモコンについて

● この2機種の電気温水器は、本体操作で使用するリモコンレス形ですが、別売部品のリモコンを組み合せて利用することによりキッチン等から遠隔操作することができます。

〈機能〉

- ・乾電池不要、100V不要
- ・深夜電力／時間帯別電灯兼用
- ・湯温調節　4段階（最高、高め、標準、低め）
- ・残湯表示　4段階
- ・週間沸き上げ日予約
- ・時計
- ・湯温表示
- ・追焚き設定
- ・幅140mm×奥行き19mm×高さ120mm

＊説明のため液晶表示部は、全表示になっています。
＊リモコン使用のとき、別売部品のリモコンケーブルが必要となります。

異常の表示と処置の方法

この電気温水器には異常時の自己診断機能があります。
時計表示部につぎの表示がでているときは、何等かの異常がありますので点検および処置を行ってください。
点検・修理の依頼はお買い上げの販売店にご相談ください。

表示(時計表示部)	原　因	処　置　方　法
E:1	水温・湯温検知センサー回路の故障	湯の沸き上げをしない場合がありますので点検・修理を依頼してください。（修理が終れば表示は自動的に消えます）
E:2	残湯量180L検知センサー回路の故障	湯の沸き上げをしますが、点検・修理を依頼してください。（修理が終れば表示は自動的に消えます）
E:3	残湯量120L検知センサー回路の故障	
E:4	残湯量60L検知センサー回路の故障	
E:6	深夜電力時間帯に2時間以上の停電があった	電力会社に停電があったのか確認してください。（次の深夜電力時間帯に2時間以上の停電がなければ自動的に消えます）

＊深夜電力で使用の場合、異常の表示は深夜電力時間帯のみです。

このようなときには

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

症　　状	点検するところ	直　し　か　た
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	●不凍結水抜きせんは開いていますか。	●閉じていたら、開いてください。
	●断水ではありませんか。	●水道局へ問い合わせてください。 （断水が終わるまで待ってください）
	●減圧弁のストレーナー部がつまっていませんか。	●17ページによりお手入れをしてください。
	●配管部分が凍結していませんか。	●お買いあげの販売店にご相談ください。
お湯が沸かない。	●配線用遮断器が「切」になっていませんか。 ●漏電遮断器のレバーが「切」になっていませんか。	●「切」になっているときは、「入」にしてください。 ＊2度、3度と「切」になる場合は故障のおそれがありますので、お買いあげの販売店にご相談ください。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	●湯温切替（調節）の位置は適当ですか。	●上のランクへ切り替えてください。 （例えば「自動」→「最高」）
	●深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用しませんでしたか。 ●いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。 ●タンクへの給水温度が低くありませんか。	●翌日までお待ちください。 ＊湯温切替(調節)が「最高」のとき、残湯がなく水温が15℃未満のときは、規定温度まで沸き上がりません。
	●逃し弁の逃し管から昼間、お湯が流れていませんか。	●17ページの「逃し弁の動作確認を」により、逃し弁の動作確認をしてください。 ●お湯が止まらないときは、逃し弁を交換してください。
よごれたお湯が出る。	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。	●水がきれいになったのを確認してから電気温水器をお使いください。 18ページの「断水・近くで水道工事が行われるとき」をご覧ください。
	●タンク内の掃除をしていますか。	●18ページの「タンク内の掃除を」によりタンク内の掃除をしてください。
減圧弁から水が漏れる。 水抜きせん ツマミ ストレーナー あみ 負圧作動弁 吐水口	●負圧作動弁から漏れるときは、吐水口をマッチ棒などで数回つついてみても止まりませんか。 ●水抜きせんから漏れるときは、ツマミを右にねじ込んでも止まりませんか。	●水漏れが止まらないときは、お買いあげの販売店にご相談ください。 （少量の水漏れのときは、ホース（内径5㎜）で排水口へ導いてください。）

仕様

項目＼形名		HTMC-3601B	HTMC-3701B
		屋内形	
		マイコン節電タイプ	
適用料金制度		深夜電力(通電制御)／時間帯別電灯切替式	
タンク容量		360L	370L
定格		単相200V 4.4kW	単相200V 4.4kW
沸上がり湯温		自動：約65℃～90℃　最高：約90℃(水温15℃)	
重量(満水時)		約58(418)kg	約51(421)kg
外形寸法(mm)	幅	590	670
	奥行	645	740
	高さ	2075	1665
安全装置		自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電遮断器・過圧防止弁	
配管口径		給水・排水・給湯R3/4(PT3/4オネジ)	
用途		セントラル給湯 3～5家族	

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

- この HOLS 電気温水器には、「保証書」を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この HOLS 電気温水器の保証期間は、お買いあげいただいた日からＢＬ認定品のため２年です。ただし、タンク（内部のヒーターは除きます）の保証期間は５年です。
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

- 弊社は、電気温水器の補修用性能部品を製造打ち切り後、ＢＬ認定品のため最低10年保有しています。
  補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買いあげの販売店または、下記のご相談先にご相談ください。
- ご転居あるいは贈答品などで保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、下記のご相談先にご相談ください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を「切」にし、不凍結水抜きせんを閉じてからお買いあげの販売店にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

- 修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規程に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	電気温水器	
形　　名	HT□□-□□□□□□□	
お買いあげ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください	
お　名　前	電話番号	訪問希望日
便利メモ	お買いあげ店名	
	電　話　番　号	
お買いあげ店名を記入されておくと便利です		

修理料金のしくみ

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。	
技　術　料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部　品　代	修理に使用した部品代です。
出　張　料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

ご相談先

お近くの HOLS お客さま相談窓口にご相談ください。なお所在地は添付一覧表を、ご参照ください。

愛情点検

長年ご使用の電気温水器の点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなくなる。
- 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 時々、漏電遮断器が働く。
- その他の異常、故障がある。

▶ ご使用中止

故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、不凍結水抜きせんを閉じてから、必ずお買いあげの販売店に点検修理をご相談ください。

HOLS

株式会社 ほくでんライフシステム

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地　TEL（011）207-6555（代表）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	

お客様へ……おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

392363N6101B

O.C (M) 機☆TSCB (H)